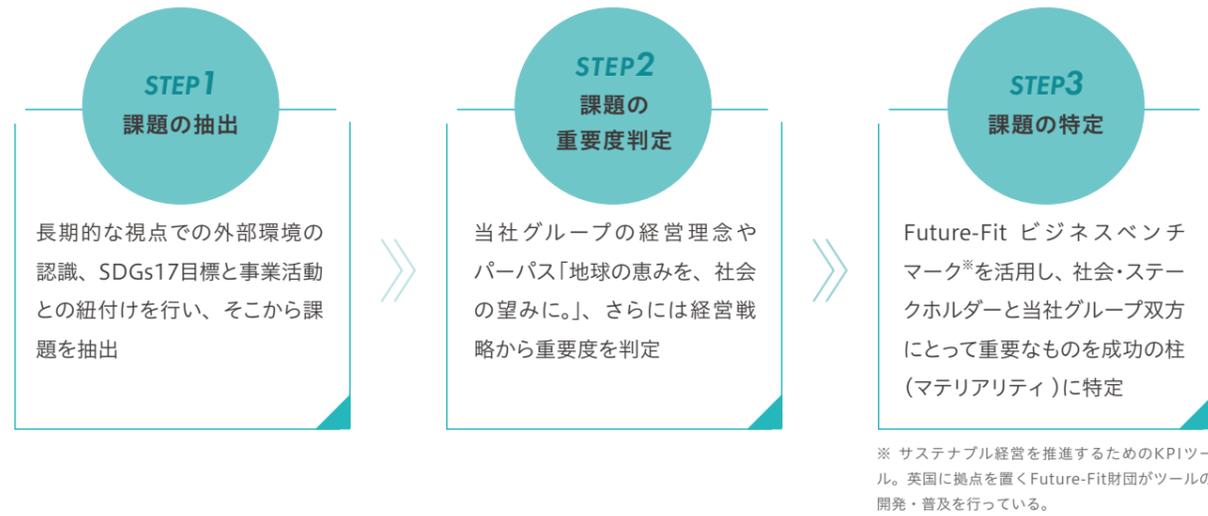


## 成功の柱(マテリアリティ)の特定プロセス

社会環境や事業環境の認識、リスクと機会の検討、ステークホルダーとの関係から、サステナブルな社会の構築における重要性、および当社グループの企業価値向上につながる事業における重要性を考慮しマテリアリティを特定しました。



## 成功の柱(マテリアリティ)

「事業継続へのインパクトの視点」(横軸)と「社会とステークホルダーの視点」(縦軸)の両面を考慮し、いずれにおいても重要度が高い要素を選定。当社グループが有する多様な技術を活用したイノベーションにより、サステナブルビジョンの実現に貢献していきます。



マテリアリティ	機会	リスク	関係性の高い事業領域					関連するSDGs
			デジタル&インダストリー	エネルギーソリューション	ヘルス&セーフティ	アグリ&フーズ	その他	
1 気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオマスを利用した地産地消型エネルギー供給システムの構築</li> <li>石油系エネルギーから低炭素エネルギーへの転換と関連機器の提供</li> <li>次世代燃料(水素、液化バイオメタン)など脱炭素ソリューションの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化石燃料の使用やCO<sub>2</sub>排出の規制強化</li> <li>エネルギー転換による既存エネルギー市場縮小や需要減少</li> <li>高潮や洪水など自然災害の激甚化による生産活動・物流機能への影響</li> </ul>	●	●	●	●	●	7, 9, 11, 12, 13
2 資源循環の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出物の回収・精製・浄化システムなどの提供 (CO<sub>2</sub>回収・固定化を含む)</li> <li>リサイクル・再利用の促進による廃棄物の削減や資源化</li> <li>廃棄物に係る循環型サプライチェーンの構築 (食品廃棄物、家畜ふん尿などの処理システムなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物処理に関する規制強化と処理コストの増大</li> <li>資源枯渇、人口増加などによる環境問題、環境リスクの広がり</li> </ul>	●	●		●	●	6, 11, 12, 13
3 環境影響物質の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス精製装置、水処理設備や排煙・排水・土壌浄化処理製品の提供</li> <li>飲料容器・包装資材における代替プラスチックの使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁水や水質悪化による原料調達、生産活動への影響</li> <li>化学物質関連の規制強化に伴う対応コストの増大</li> <li>プラスチック規制の強化</li> </ul>	●			●	●	6, 11, 12, 13, 14, 15
4 地域社会との共存共栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害リスクの最小化に貢献するソリューションの提供</li> <li>下水道など社会インフラ・システムの整備に貢献する製品・サービスの提供</li> <li>地域の雇用創出と経済振興に貢献する事業の創出</li> <li>スマートファクトリー・スマート農業のニーズ拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少(少子高齢化)と都市集中に伴う地域経済の衰退</li> <li>自然災害による被害の甚大化</li> <li>社会インフラの老朽化に伴う運用・維持コストの増大</li> </ul>	●	●	●	●	●	2, 3, 6, 8, 9, 11, 12, 13
5 ウェルネス(健やかな暮らし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の高度化や遠隔化に貢献する製品・サービスの提供</li> <li>セルフメディケーションを可能とする製品・サービスの提供</li> <li>おいしくかつ安心・安全・健康に貢献する食材の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>超高齢化と健康寿命の延伸に伴う医療費の増大</li> <li>生活習慣病などの慢性化や複雑化をはじめとした疾病構造の変化</li> </ul>			●	●		2, 3, 8, 12
6 働く人々のWell-beingの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した働き方改革やワークライフバランスの推進</li> <li>従業員のキャリア形成とダイバーシティ経営の推進</li> <li>従業員が心身ともに健康で安心して働ける職場環境づくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な対応を実施しない場合の労働生産性の低下や優秀な人材の流出</li> <li>従業員の健康逸失リスク</li> <li>事業展開のグローバル化に伴う従業員の価値観の多様化</li> </ul>	●	●	●	●	●	3, 4, 5, 8, 10, 11, 16, 17
7 グループガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>子会社の統合再編による内部統制機能の強化</li> <li>コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化</li> <li>透明性向上によるステークホルダーとの信頼性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制の機能不全に伴う事業継続リスク、予期せぬ損失の発生</li> <li>コンプライアンス違反による社会的信用の失墜</li> <li>M&amp;A・事業拡大に伴うリスク管理の機能不全</li> </ul>	●	●	●	●	●	8, 16, 17